

新大広報 BackNumber

- 138号 特集：国際交流
- 139号 特集：卒業
- 140号 特集：新潟大学学長インタビュー
- 141号 特集：総合大学としての新潟大学の魅力

バックナンバーが欲しい方は、事務局の学生部学生課まで受け取りに来て下さい。

募集!

新大広報の制作に 参加してみよう

新大広報の編集会議に参加して下さる方を募集しています。今号の編集会議には、企画段階からの参加は残念ながら果たせませんでしたが、ざっくばらんな情報交換会（いわゆる飲み会）への参加、取材が進む中での編集会議へ学生さんからも参加してもらえました。



「編集会議で、「研究者」と「職人」としての、先生方にお会いすることができました。この職人魂も、新大の魅力に挙げられるのではないのでしょうか？」
教育人間科学部 宮崎道名

部・サークル活動の紹介、発表会の案内、授業で作成した作品の紹介など掲載を希望する記事を併せて募集しています。

問い合わせ先：学生課（025-262-7330）、または各学部の広報委員まで。

連載しておりました「世界の都市」は今回お休みしました。



キャンパス植物歳時記 新大の大きな樹②

紅葉したツタがからんだ改良ポプラ
（別名カロリナポプラ）

第1食堂前の広場には数本の大きなポプラがそびえ立っている。その学名ポプラス（Populus）「ふるえる」という意味で、葉柄が扁平なためにわずかな風でも葉がそよぐところから命名された。改良ポプラは、よく知られている幕状の樹形をしたヨーロッパクロポプラとともに、ヨーロッパで品種改良され移入されたものである。どちらも世界中の公園や道沿いに植えられている。紙谷智彦（農学部）

編集後記

新潟大学の多面的な顔を探る、これが142号の目的です。五十嵐キャンパスから飛び出して、一層元気で面白い大学の魅力を紹介できたと思っています。その一つは、六花寮生たちの過去と現在の顔、もう一つは、佐渡を拠点に地球環境の未来を探るエコ・ステーションというべき附属センターの顔。一見つながりのなさそうな二大特集ですが、そこには、人を愛し自然との共生を目指して、よりよい社会を作ろうとする人たちの思いがあふれていました。編集委員たちは、六花寮の座談会でも、佐渡臨海実験所・佐渡演習林でも、意欲的に生きるその姿勢に圧倒され続けました。私たちは、もっと視野を広げて、新潟大学の新たな個性と可能性を知るべきではないでしょうか。この特集号が、そのために少しでも役立てば嬉しいと思います。なお、この度は、多くの方々からの全面的な支援をいただいて、本特集が実現いたしました。深く御礼を申し上げます。（石坂妙子）

広報に散在する粹な見出しがどんな着想から生まれるのかという点にある種の驚きを感じていました。取材にしろ編集にしろほんとに真剣に取り組んでおられるのを内から知る機会がありよい経験をさせて頂きました。2回の取材にも、編集会議にもまともに出席できず申し訳なく思っています。（石田昭男）

自称「不肖・カメラマン」として取材に同行いたしました。ファインダー越しに垣間見るピオトープの表情は一瞬として同じではなく、ときにセクシーですらありました。森が呼吸していることも肌で知りました。そんな感動を多少ともお伝えできていれば幸いです。（川瀬知之）

広報委員会第1部会

部会長	仙石 正和（学長特別補佐）	Tel 262-6751	sengoku@ie.
編集委員長	寺田 員人（歯学部）	Tel 227-2975	tera@dent.
委員	井山 弘幸（人文学部）	Tel 262-6573	
	石坂 妙子（教育人間科学部）	Tel 262-7116	ishizaka@ed.
	谷 喬夫（法学部）	Tel 262-6493	
	濱田 弘潤（経済学部）	Tel 262-6538	khamada@econ.
	石田 昭男（理学部）	Tel 262-6145	ishida@sc.
	山内 春夫（医学部）	Tel 227-2141	daba@med.
	川瀬 知之（歯学部）	Tel 227-2845	kawase@dent.
	谷口 正之（工学部）	Tel 262-6716	mtanig@eng.
	青柳 育（農学部）	Tel 262-6626	qingliu@agr.
	藤野 邦夫（医療技術短期大学部）	Tel 227-2362	fujino@clg.

事務局（学生部） Tel 262-7330 Fax 262-7515 gakusei@adm.
（E-mailのアドレスは、niigata-u.ac.jpの標記を省略しています。）

この広報は再生紙を使用しています。